



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 梅木 孝雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役現業支援本部長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 9,108	% △8.2	百万円 △144	% —	百万円 △128	% —	百万円 △199	% —
2025年3月期第3四半期	9,925	△2.8	127	51.9	136	41.3	87	56.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △154百万円(-%) 2025年3月期第3四半期 100百万円(58.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 △40.92	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	17.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 15,157	百万円 6,230	% 41.1
2025年3月期	14,988	6,482	43.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 6,230百万円 2025年3月期 6,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 12,200	% △5.9	百万円 △250	% —	百万円 △240	% —	百万円 △310	% —

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一 社 (社名) 、除外 一 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年3月期 3Q	5,155,600株	2025年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	288,193株	2025年3月期	288,193株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	4,867,407株	2025年3月期 3Q	4,867,407株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策動向やアジア地域における地政学的なリスクの高まりなどが景気減速要因として懸念されております。また、物価上昇の継続による消費者マインドへの影響もあり、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。当社グループが属する靴等小売業界においても、継続的な物価上昇に伴う実質賃金の低下などにより消費者の生活防衛意識が強まり、消費者の商品価格と品質への評価は一層厳しくなっております。

このような環境の下、当社グループは当期の基本戦略を「商品力の強化＝価格から価値へ」とし、価格以上の価値をお客様にお届けすべく開発体制を強化し、顧客満足度の高い商品の提供を目指してまいりました。しかしながら、通信販売事業の売上が計画を下回ったことを主因として、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、91億8百万円（前年同期比8.2%減）、営業損失は1億44百万円（前年同期は営業利益1億27百万円）、経常損失は1億28百万円（前年同期は経常利益1億36百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億99百万円（前年同期は四半期純利益87百万円）となりました。

当社グループの報告セグメントの当第3四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では春夏の販売促進商品に続き秋冬には「あつたかボアのサボサンダル」「吸湿発熱シャツ」「保温マグカップ」「キッズスリッポン」の他、800点を超える新商品を投入いたしました。また、昨年度新発売の『立ったまま履ける「S P-O N」』は、4月以降新たに15アイテムを投入し、当期中販売足数は9万足に達しました。また、販売促進面では、インフルエンサー投稿やWEB広告の他、「新社長ごあいさつキャンペーン」「秋の生活応援まとめ買いキャンペーン」「ブラックフライデーキャンペーン」等のセールおよび新規顧客向けクーポン配布等の施策を講じ、新規顧客および既存顧客の受注獲得に努めました。しかしながら、受注の牽引役となる販売促進商品および残暑の影響を受けた秋冬季節商品の売れ行きが伸び悩み、その他商品についても価格を含めて商品の価値をお客様に明確に訴求することができず、受注件数が前年同期を下回りました。この結果、売上高は39億86百万円（前年同期比15.7%減）となりました。利益面は、広告宣伝費を主に販管費を削減いたしましたが、減収の影響が大きくセグメント利益は44百万円（前年同期比84.2%減）となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、総合店の食品・日用雑貨および当期中に3か店の新規出店を行った靴専門店が堅調に推移した他、重点販売商品である「S P-O N」が靴売上の下支え役を果たしましたが、長引く残暑の影響もあり秋冬季節商品の売れ行きが伸び悩みました。この結果、売上高は50億3百万円（前年同期比0.7%減）となりました。利益面は、チラシ配布の効率化等により販管費を削減いたしましたが、減収の影響によりセグメント利益は1億35百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、休眠取引先の再開および新規取引先の獲得に努めましたが、主力取引先やホームセンター等その他取引先について販売が振るわず、前年同期を下回りました。この結果、売上高は1億18百万円（前年同期比26.1%減）となりました。利益面は、減収の影響が大きく、セグメント利益は0百万円（前年同期比96.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億28百万円増加し、106億45百万円となりました。これは、現金及び預金が6億19百万円増加し、売掛金が2億83百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少し、45億12百万円となりました。これは、有形固定資産が1億63百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億68百万円増加し、151億57百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ12百万円増加し、34億68百万円となりました。これは、買掛金が73百万円増加し、賞与引当金が41百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4億8百万円増加し、54億58百万円となりました。これは、長期借入金が3億57百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億20百万円増加し、89億26百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億51百万円減少し、62億30百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント低下し、41.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ2億80百万円減少し、24億円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億6百万円（前年同期比29.6%減）となりました。これは主に、売上債権の減少額2億83百万円、減価償却費2億8百万円、税金等調整前当期純損失1億28百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、9億35百万円（前年同期比29.1%減）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出38億円、定期預金の払戻による収入29億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2億49百万円（前年同期比40.2%減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出16億15百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2025年5月14日の決算短信にて発表しました2026年3月期の業績予測を見直した結果、当該第3四半期において2026年3月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（2026年2月5日）公表した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,480,986	7,100,922
売掛金	769,508	485,665
商品	2,834,965	2,780,880
未着商品	126,169	92,837
貯蔵品	11,254	9,902
その他	100,398	180,043
貸倒引当金	△6,160	△5,115
流動資産合計	10,317,122	10,645,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,652,003	1,529,553
土地	2,589,106	2,589,106
その他（純額）	177,596	136,871
有形固定資産合計	4,418,705	4,255,531
無形固定資産	52,135	38,087
投資その他の資産	200,607	218,429
固定資産合計	4,671,448	4,512,047
資産合計	14,988,570	15,157,185
負債の部		
流動負債		
買掛金	723,490	797,317
1年内返済予定の長期借入金	1,917,616	1,944,432
未払法人税等	25,351	3,615
賞与引当金	102,134	60,654
役員賞与引当金	—	3,750
契約負債	13,707	11,683
その他	673,803	647,187
流動負債合計	3,456,103	3,468,638
固定負債		
長期借入金	4,718,307	5,075,680
退職給付に係る負債	201,481	205,033
資産除去債務	54,205	59,297
その他	76,061	118,062
固定負債合計	5,050,055	5,458,073
負債合計	8,506,159	8,926,711

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,965,282	4,668,773
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	6,410,091	6,113,581
その他他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,773	68,553
繰延ヘッジ損益	7,919	37,398
為替換算調整勘定	9,627	10,939
その他他の包括利益累計額合計	72,320	116,891
純資産合計	6,482,411	6,230,473
負債純資産合計	14,988,570	15,157,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,925,388	9,108,579
売上原価	5,410,243	5,072,152
売上総利益	4,515,144	4,036,427
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,077,403	1,003,035
貸倒引当金繰入額	5,017	2,852
給料手当及び賞与	1,396,687	1,377,079
賞与引当金繰入額	64,260	60,654
その他	1,844,687	1,737,068
販売費及び一般管理費合計	4,388,055	4,180,689
営業利益又は営業損失(△)	127,089	△144,261
営業外収益		
受取利息	6,582	17,543
受取配当金	2,849	3,431
為替差益	703	6,352
受取補償金	11,209	10,367
その他	14,311	13,801
営業外収益合計	35,657	51,497
営業外費用		
支払利息	25,750	35,230
その他	88	117
営業外費用合計	25,838	35,348
経常利益又は経常損失(△)	136,907	△128,112
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	136,907	△128,112
法人税、住民税及び事業税	40,605	14,389
法人税等調整額	9,186	56,660
法人税等合計	49,791	71,049
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,115	△199,161
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	87,115	△199,161

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,115	△199,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,349	13,779
繰延ヘッジ損益	4,086	29,479
為替換算調整勘定	△1,074	1,312
その他の包括利益合計	13,361	44,571
四半期包括利益	100,477	△154,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,477	△154,590
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	136,907	△128,112
減価償却費	216,575	208,540
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	△1,045
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46,977	△41,480
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,750	3,750
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,627	3,552
受取利息及び受取配当金	△9,432	△20,975
支払利息	25,750	35,230
為替差損益(△は益)	1,261	△376
売上債権の増減額(△は増加)	336,004	283,533
棚卸資産の増減額(△は増加)	111,793	88,768
仕入債務の増減額(△は減少)	140,222	73,633
契約負債の増減額(△は減少)	△2,542	△2,024
その他	△320,447	△35,684
小計	594,518	467,308
利息及び配当金の受取額	8,570	21,542
利息の支払額	△26,407	△36,601
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	583	△45,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	577,265	406,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,200,000	△3,800,000
定期預金の払戻による収入	2,000,000	2,900,000
有形固定資産の取得による支出	△119,782	△29,800
投資有価証券の取得による支出	△451	△452
その他	555	△5,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,319,679	△935,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	0
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,648,888	△1,615,811
配当金の支払額	△97,434	△97,405
その他	△37,161	△37,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	416,515	249,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,072	△539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△326,970	△280,064
現金及び現金同等物の期首残高	2,860,598	2,680,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,533,627	2,400,922

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,726,485	5,038,942	159,959	9,925,388	—	9,925,388
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,726,485	5,038,942	159,959	9,925,388	—	9,925,388
セグメント利益	284,887	140,117	8,313	433,317	△ 306,228	127,089

(注) 1 セグメント利益の調整額△306,228千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃27,053千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,986,471	5,003,895	118,213	9,108,579	—	9,108,579
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,986,471	5,003,895	118,213	9,108,579	—	9,108,579
セグメント利益	44,900	135,036	312	180,248	△324,510	△144,261

(注) 1 セグメント利益の調整額△324,510千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃26,494千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。